

実力を伸ばすクラス 偏差値のめやす 50～60程度 高2～高3

この紙のゴール：同じ話題の2つの文章を読み、どこで意見が分かれているかを言えるようにする / 目安25分（本文＋設問）。本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

[1] If you want to become very good at something, when should you decide what it is? One answer is: as early as possible. Skill is built out of hours, and hours are easier to collect when you start young and keep going.

[2] Hard skills are made of small parts that have to become automatic. A pianist does not think about which finger to move next. A swimmer does not think about the shape of the hand. Making a movement automatic takes thousands of repetitions, and thousands of repetitions take years. A student who decides at twelve has six more years of them than a student who decides at eighteen.

[3] An early choice also gives you people. Once you belong to a team, an orchestra, or a laboratory, you are surrounded by others who are slightly better than you, and you copy them without noticing. This is a quiet advantage, and it is hard to buy later.

[4] Some say that children who choose early may choose wrongly, and that is true. But a wrong choice made early is cheap. At twelve, changing direction costs a year; at twenty-five, it can cost far more. The danger is smaller than it looks, because the cost of leaving is still low.

[5] Others point out that early specialists often stop. They train too much, get hurt, or lose interest. This is a real problem, but it is a problem of how the training is run, not of when it began. Long hours without rest damage anyone, whatever age they started.

[6] So the advice is not "choose forever." It is "choose now, and stay long enough to become good at something." A choice can be corrected. Lost hours cannot be recovered.

〔語注〕 automatic＝考えなくてもできる repetition＝くり返し specialist＝1つに絞って取り組む人

本文には自由に書き込んでください。つながりの語（But / Yet / however）に印をつけ、段落の左に「認める／切り返す／例／主張／提案」とメモすると、大問1がそのまま解けます。

早くから絞るか、広く試すか 文章B

年 組 番 名前 _____

文章Aと同じ話題について、Aを読んだ別の書き手が書いたものです。Aのどこに反対しているかを探しながら読みましょう。

[1] The advice to choose early sounds sensible, but it describes only the people we happen to hear about.

[2] We hear from the ones who chose at twelve and are still playing at thirty. We do not hear from the far larger number who chose at twelve, trained for six years, and quit. When only the ones who stayed are asked, an early start looks like the cause of their success.

[3] The argument also leaves out one question: how does anyone know what to choose? A twelve-year-old cannot compare fields they have never tried. The years spent sampling are not wasted years before the real training. They are the years in which the choice becomes possible.

[4] Hours matter, of course. But hours spent on the wrong thing are hours too, and they are much harder to notice.

〔語注〕 sensible=もっともらしい・理にかなった sampling=いろいろ試してみること

Aと同じところに線、ちがうところに波線を引きながら読むと、対立点を答える設問がそのまま解けます。



早くから絞るか、広く試すか 設問

年 組 番 名前 _____

文章A・B（前の紙）を見ながら答えてかまいません。

大問1 **それぞれの主張** AとBの筆者が、いちばん言いたいことを日本語で書こう（各20字以内）。

(1) 文章Aの筆者の主張 **思考・判断・表現**

4点

(2) 文章Bの筆者の主張 **思考・判断・表現**

4点

大問2 **対立点** 2人の意見が分かれている場所について答えよう。

(1) AとBは、練習の時間が大事だという点では一致している。では、どこで分かれているか。40字以内の日本語で書きなさい。 **思考・判断・表現**

6点

(2) Bの[2]段落は、Aのどの段落に対する反論か。段落番号で答え、その理由を20字以内で書きなさい。

思考・判断・表現

5点

大問3 **読み取り** 本文の内容に即して答えよう。

(1) Aの[4]段落で、筆者は反対意見をどう扱っているか。 **思考・判断・表現** 答え（ ）

3点

- ア 反対意見を紹介したうえで、そのまま受け入れている
- イ 反対意見をいったん認めたうえで、損の大きさを比べて切り返している
- ウ 反対意見を事実と違うとして退けている
- エ 反対意見にはふれずに、自分の主張をくり返している

(2) Bの[4]段落 hours spent on the wrong thing are hours too の意味に、いちばん近いものは。

知識・技能

答え（ ）

3点

- ア まちがったことに使った時間も、練習時間として数えてよい
- イ まちがったことに使った時間も、同じだけ失われている
- ウ まちがったことに使った時間は、あとで役に立つ
- エ まちがったことに使った時間は、数える必要がない

早くから絞るか、広く試すか（標準） | 解答と採点

解答
 選択問題

大問3 読み取り		
(1)	イ	and that is true で認め、But 以下で「早い誤りは安い」と損の大きさを比べている。認めてから射程を限定する型。
(2)	イ	Aの「失った時間は取り戻せない」をそのまま裏返した1文。too は「それと同じく」で、直前の Hours matter を受けている。

記述の採点
 模範解答と部分点の刻み

刻みは答案を見る前に配点を決めておくための表です。採点しながら基準を作ると、最初の10枚と最後の10枚で線が動きます。

大問1(1) 文章Aの筆者の主張
 4点

早く1つに決めて続けたほうがよい（16字）

配点	その点を与える条件
2点	「早く決める・早く1つに絞る」が入っている
2点	「続ける・長く続ける」が入っている

大問1(2) 文章Bの筆者の主張
 4点

早く決める前に、いろいろ試す時間が要る（19字）

配点	その点を与える条件
2点	「いろいろ試す・比べる」が入っている
2点	それが決める前に必要だ、という順序が出ている

「早く決めるのは反対」とだけ書いた答案は2点。Bは決めること自体は否定していない（[3]で「早い決定ではない」と言っているだけ）。

大問2(1) AとBは、練習の時間が大事だという点では一致している。では、どこで分かれているか。40字以内の日本語で書きなさい。
 6点

早く始めた人が上手いという事実から、早く始めたことが原因だと言えるかどうか。（38字）

配点	その点を与える条件
3点	「早く始めた人が上手い」という事実に触れている
3点	それを原因と言えるかどうか、という対立の形になっている

「Bは早く始めるのに反対」は0点（分かれ目の取りちがえ）。「Bは試す時間が大事だと言う」は3点—Bの主張ではあるが、Aとの対立点の形になっていない。

大問2(2) Bの[2]段落は、Aのどの段落に対する反論か。段落番号で答え、その理由を20字以内で書きなさい。
 5点

[1]～[2]／続けている人の話しか聞いていないから（21字）

配点	その点を与える条件
2点	段落番号が [1] または [2] を指している
3点	理由が「続けている人の話しか聞こえていない」の意味になっている

早くから絞るか、広く試すか（標準） | 出題のねらい

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

対立点を特定する力は、長い英文を1本読み切る体力とは別のものです。2つの文章が「反対のことを言っている」のは誰でも分かりますが、**どの一歩で分かれたのか**を1文で言えるかどうかで差がつきます。Bは「早く決めるな」と言っているのではなく、Aの「早く始めた人が上手い」という観察から「早く始めたから上手い」という結論へ渡る一歩に反対している—ここを取り違えた答案が最も多く出ます。

型	観点	テストでの使い方
それぞれの主張（記述）	思考・判断・表現	2つの文章の主張を1文にたたむ。3版共通の骨格で、ここが書けないと以降が全部崩れる
対立点の特定	思考・判断・表現	段3の芯。基礎は選択、標準・発展は記述。どの一歩で分かれたかを言えるか
論の運びの読み取り	思考・判断・表現	譲歩から切り返しへの型と、Bがどの段落に反対しているかの対応づけ
語句の意味・下線部和訳	知識・技能	基礎・標準は文脈からの推測、発展は和訳。構文と語彙の精度をここで測る
自分の考えを書く（英語）	思考・判断・表現	発展版のみ。両方にふれて50語。読み比べを表現につなぐ出口

大問I（それぞれの主張を1文で）は3版とも同じ問いです。配り分けでも、ここだけは同じ力を測っています。

3つの版の使い分け

論題と対立の中身は3版共通で、変えているのは英文の長さ及答案方です（基礎＝主張を選ぶ／標準＝日本語で書く／発展＝日本語の記述に英語の意見を1問足す）。同じクラスで配り分けでも、答案は同じ観点で並べて読めます。